

第39号

きずな

平成17年8月15日 恵み野北町内会

第14回 親睦懇親会特集 2005.7.24

第14回親睦懇親会は、当初予定の7月10日が雨天のため順延となり、7月24日(日)開催されました。好天に恵まれ、約1,000名の会員がビール交歓・各種ゲームを楽しみました。



50才以上の方で競った輪投げゲーム

就学前児童のかけっこ
“坊ちゃん・嬢ちゃん”
ゴールでは“ジャガリコ”が配られました。



丁目対抗紅白玉入れゲーム
接戦の末 優勝3丁目 お見事！

水遊び



昼休み風景



気持ちイイー!



中村燃料店さん
今年もかき氷、ポップコーン
ありがとうございました。



杓子リレー
小学校の低学年・中学年・
高学年に分かれて競技しました。



丁目対抗相撲の熱い戦い



戦いを制したのは6丁目
おめでとうございます。



ビンゴゲーム風景
数字の発表に一喜一憂

見事ビンゴゲーム一位の○△さん
一位賞品と和田相談役からの特別賞をGET!
和田相談役から沢山の特別賞を提供していただきました。
ありがとうございました。

☆赤ちゃん誕生☆

高橋 琴美 (コトミ) ちゃん	平成16年	6月29日	北5丁目
石崎 太那 (ダイナ) ちゃん	平成17年	1月24日	北7丁目
門松蒼一郎 (ソウイチロウ) ちゃん	平成17年	4月 5日	北7丁目

町内会長からの謝礼

北町内会長 長屋 幸成

関係事項を紹介し、お礼申し上げます。

◎ 北町内会の更なる活性化に尽力して下さっている皆さんに対する謝礼

一、第十四回親睦懇親会の開催に当たって

当初予定日の七月十日は雨のため、予備日の七月二十四日に開催致しましたが関係する役員・区長さんの働き、及び参加された皆さん方の暖かい気持ちのふれあいにより、楽しく・円満に・効果ある成果を収め得ることが出来たものと確信しております。

特に次の事項についてご紹介し、お礼させていただきます。

(一) 第二回実行委員会の開催 (七月三日)

各区長さんは、一名の遅刻者があったものの全員(二十八名)参加され、建設的かつ有意義に打合せ業務が行われました。私、過去四年間町内会業務に関係してきましたが、この度のように全員の出席者を得、円滑な打合せを経験したのは始めてでした。各区長さんの誠意と積極性の表れと信じます。

(二) 会場(冒険広場)の草刈

町内会から市役所へ、冒険広場の草刈を要請しておりましたが、七月四日、北三丁目にお住まいでシルバーセンターに勤めている方(個人名は控えます)から、「シルバーセンターにも要請した方がよい」旨のアドバイスを受け、シルバーセンターにも要請しました。七月六日降雨の中、雨衣に身を包んだシルバーセンターの方々により草刈が行われました。アドバイス

下さった方は北町内会親睦懇親会の円滑な運営を期待していたものと思います。シルバーセンターの方々とは合わせ有難う御座いました。

(三) 事業にご協賛下さった方々

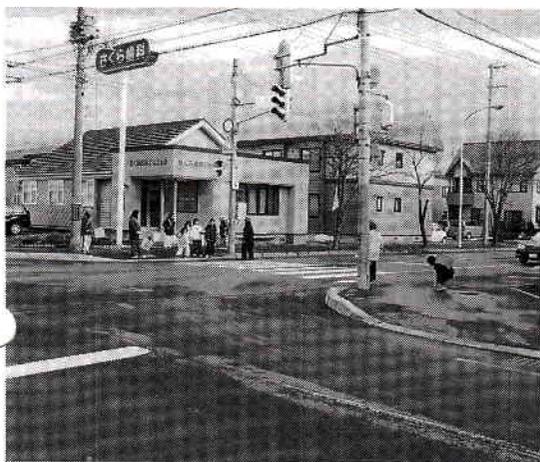
次の企業の方々のご協賛下さり、ご芳志を頂いております。

ア、中村燃料設備有限公司 様
イ、恵庭リサーチ・ビジネスパーク(株) 様
ウ、株式会社メモリアル・むらもと 様
エ、スパ・恵み野北店 様
オ、恵み野商店会 様

二、北会館周りの草刈について

北会館周りの草刈について、総務部で計画していたところでしたが、北五丁目にお住まいの方(個人名は控えます)が刈り取って下さいました。

時間がありません、健康のためとのことでしたが、町内の美化、特に公共の場所の美化に留意されておられたものと思います。



春・夏の交通安全指導
(スパ・恵み野店前交差点)
防犯交通部・区長の皆さん
“ありがとうございました”

おみやみ申し上げます

上松 豊 様	90歳	3月29日逝去	北6丁目
岡村 和子 様	67歳	4月25日逝去	北1丁目
澤田 賢二 様	50歳	4月30日逝去	北7丁目
佐々木 春男 様	85歳	5月11日逝去	北5丁目
東野 ヤエコ 様	92歳	5月21日逝去	北5丁目
深浦 信男 様	74歳	5月26日逝去	北4丁目
千葉 ソヨ 様	85歳	6月28日逝去	北2丁目
細川 サトエ 様	82歳	7月17日逝去	北6丁目

恵み野夏祭り

恵庭すずらん踊りに参加

八月七日

今年から従来行ってきた恵庭市内一ヶ所での「恵庭すずらん踊り」を三つの地域にわけて（恵庭地域・恵み野地区・島松地区）実施することとなり、八月七日の「恵み野夏祭り」のなかで実施しました。北町内会からは十五名が参加し、日頃の練習の成果を披露しました。

「恵庭すずらん踊り」は、郷土芸能として今後も継承していくことになりました。もつと多くの多くの人が参加すると夏祭りも盛り上がると思います。皆さん来年は参加しましょう！



女性部を先頭に炎天下の中
ハッスル・ハッスル



◆地震対策基幹要員の募集について

北町内会長 長屋 幸成

年頭の挨拶及び五月の回覧でお伝えしたように「地震発生時の北町内会としての対策」について、各機関と調整しながら計画を進めておりますが、その対策に当たっては、「本部関係」、「各丁目毎の地域対策関係」及び「救急・治療関係」の組織が必要で、そのための基幹要員として、約八十名を必要とします。

近々、その基幹要員の方を募集します。

年齢・性別を問わず、平素時間に余裕のある方で、動ける人は是非応募して下さいようお願いいたします。細部は募集時の用紙で説明します。

尚、基幹要員の方には、専門家により必要な教育・訓練をします。（実際の活動は、平成十八年になってからの予定です。）

防災・減災フォーラム 2005 in 北海道

―自然災害の備えを検証する―

相談役 和田 哲也

昨年は異状ともいえる規模や頻度の洪水・高潮・土砂災害などが全国各地で発生し、多くの人命・財産が失われました。

また、高齢者やハンディを抱えている人、園児など災害時に援護が必要な方をどのように守るのか、避難情報の遅れ、避難情報が出されても避難しない住民の危機意識の低さなど、さまざまな問題がクローズアップされました。

「どのようにすれば被害を軽減できるのか」「災害に強い地域社会をどのように作っていくのか」「個人、地域、行政のそれぞれが何をなすべきか」これらの自然災害の備えを検証するフォーラムが、北海道新聞社／全国地方新聞社連合会の主催で七月四日（月）北海道経済センターで開催され、聴講してきました。

その中から、必要と思われる事項をいくつかお知らせいたしますので参考にしてくださいと思います。

一、昨年の自然災害で被災した高齢者の割合（市澤氏）

（次頁につづく）

- 二、災害の規模（宇井氏）
- (一) 六十五歳以上の高齢者が三分の一
 - (二) そのなかで七十歳以上の後期高齢者は五〇%

- (一) 発生の頻度や前兆の有無、災害継続時間は災害事象により異なる。
- (二) 同じ災害でも地形、気象、規模等、個々の事象ごとに災害の内容に違いがある。

注意事項

- (一) 個人の過去の経験に頼るのは限界がある。
- (二) 専門家の客観的判断を尊重すべきである。
- (三) 一度作っただけではすまない防災マップ（行政）
- (四) 繰り返し配布修正版をつくる（行政）
- (五) 公助には限界があるので、住民の自主防災組織の育成が必要
- (六) 防災訓練終了後は関係者による反省会を実施し、今後の対策に活用すべきである。

三、大雨に関する気象庁発表の手順（市澤氏）

- (一) 雨注意報
- (二) 大雨に関する〇〇県災害情報
- (三) 大雨警報
- (四) 記録的短時間大雨情報
- (五) 大雨警報「重要変更」

四、行政の立場から（河野深川市長）

- (一) ハード対策の充実とソフト面の充実
- (二) 職員に対してはネットワーク・チームワーク・フットワークで業務を執り行うよう指導している。

五、学校の立場から（赤間妹背牛小学校校長）

- (一) 昨年度休憩時間中に避難訓練を実施（教職員が不在の場合の対応検証）
- (二) 職員とともに危機管理能力の向上・危険予知・回避能力の向上を図る
- (三) 不審者侵入時の対応を実施
- (四) 教育委員会と情報の共有化を図る
- (五) 今年度は実際に放水訓練を実施予定

六、避難勧告の在り方について検討（市澤氏）

- (一) 要援護者への避難準備を伝達
- (二) 要援護者への避難マニュアルづくりが大切

※要援護者も避難訓練の気持ちで避難する（行動を起こす勇氣）

七、住民の役割（宇井氏）

- (一) 行政や専門家から出された情報を受け入れる
- (二) 自分だけは大丈夫だろうという根拠のない甘えを捨てる
- (三) 住民自らが災害を軽減し、行政の負担を軽くするための日頃からの行動が求められる

八、マスコミに対する要望（宇井氏）

記事の見出しだけを見て判断する読者が多いので、風評被害を及ぼすような見出しは書かない（大手新聞社の記事を紹介）

冊子「認知症のお年寄りへの対応」

二〇部提供いただきましたので

必要な方は申し込んで下さい。

お知らせ

平成十七年度 国勢調査が行われます。

五年毎に行われている国勢調査が今年度実施されます。九月二十三日から調査員の方が各戸を訪問し、調査票を配布します。調査票の収集日までに記入をお願いします。